

第14回鎌倉散策

第14回目の鎌倉散策は、令和元年11月28日(木)に開催。当日はあいにくの雨の中の散策となりました。雨で皆さんの集合はどうか、と思っていたところ集合時間の15分前には全員集合♡雨をものともせず出発です。

と、言いながら今回はバスとタクシーでの移動となります。

まずは一遍上人が門前で迎えて下さる五番札所の『光觸寺』(こうそくじ)です。

鎌倉時代、塩は貴重な物資でした。塩の行商人は塩を籠に入れ天秤棒で肩に担いで朝比奈切り通しを越え、鎌倉へ商いに行きました。光觸寺橋のたもとのお地蔵さまに“今日も商いがうまくゆきますように”と一つまみの塩を供えてお願いしました。ところが帰りには塩がなくなっていたことから、地蔵がなめてしまったのだらうということで名前が付けました。



塩嘗(しおなめ)地蔵尊



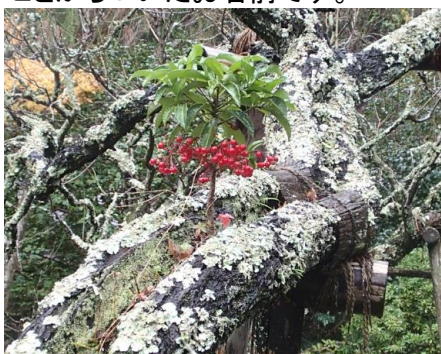
一遍上人の像

続いて向かったのは『杉本寺』です。運家作ではないか？とも云われる仁王様がお出迎えです。山門をくぐると“苔の階段”が正面に見えます。



杉本寺には『身代地蔵尊』『尼将軍地蔵尊』をお祀りしています。

さて、本日最後は『瑞泉寺』です。鎌倉時代に、智岸ヶ谷の地蔵堂の堂主が貧しさのあまり逃げだそうすると、夢枕に地蔵が現れて、『どこも苦、どこも苦』告げたということからついたお名前です。



梅の古木と萬両のコラボ



次会は、令和2年5月の後半頃で予定しています。新しい国土会での案内はまだ出せませんが皆様の参加をお待ちしています。

幹事:松浦 潤 (090-1645-8415)